

平成 24-25 年度「学科横断的 PBL ものづくり教育プログラムの開発」事業における 学外向けものづくり研修について

山梨大学 工学部附属ものづくり教育実践センター
専任教員 ○石田和義, 技術専門職員 堀内宏, 技術専門職員 大瀧勝保,
技術専門職員 山口正仁, センター長 大内英俊
E-mail: isawa@yamanashi.ac.jp, hhoruchi@yamanashi.ac.jp, otaki@yamanashi.ac.jp
yamahito@yamanashi.ac.jp, ohuchi@yamanashi.ac.jp

1. はじめに

当センターでは、平成 22～26 年度までの 5 年計画で「学科横断的 PBL ものづくり教育プログラムの開発」事業を実施しており、平成 22 年度後期から課題解決型（PBL）ものづくり実習を開講し、平成 24 年度からは学外向けものづくり研修を実施している¹⁾。そこで、本報では平成 24 年度下半期から平成 25 年度上半期における学外向けものづくり研修の実施概要を報告する。

2. 学外向けものづくり研修

本研修の実施目的は、①ものづくり人材育成に携わる指導者のレベルアップのための研修を実施することにより地域の要望に応え、②経験豊かな外部講師による教育プログラムや指導方法などを把握し、受講者アンケートを実施することで、教育プログラムの開発に活用することである。

2.1 工業系専門高校教員・高校教員向け

工業系専門高校教員・高校教員向けものづくり研修の実施概要を表 1 に、実施風景を図 1 に示す。工業系専門高校教員向けには技能検定取得講習や技術講習とし、他分野の高校教員向けには伝統工芸講習とした。なお、当センター職員で対応できない研修については、本学教員や県内技能士会所属の技能士の方々からご協力を得た。また、「ガラス細工」では、来年度から高校で新た

表 1 工業系専門高校教員・高校教員向けものづくり研修の実施概要
(平成 24 年度下半期～平成 25 年度上半期分)

No.	実施年月日	研修名	講師	受講人数
1	2013/3/9～2013/3/10	技能検定取得講習 「普通旋盤作業 2 級」	外部（技能士）	3 名
2	2013/7/26	伝統工芸講習 「ガラス細工」	外部（工芸作家）、 センター職員	4 名
3	2013/7/31	伝統工芸講習 「陶芸」	外部（元センター職員）、 センター職員	5 名
4	2013/8/3～2013/8/4	技能検定取得講習 「機械組立仕上げ作業 3 級」	外部（技能士）	9 名
5	2013/8/3～2013/8/4	組込みマイコン技術講習 「mbed 入門・活用」	本学教員	8 名
6	2013/8/8	伝統工芸講習 「ガラス細工」（追加実施）	センター職員	4 名



図1 教員向けものづくり研修実施風景（左：「陶芸」、右：「機械組立仕上げ3級」）



図2 工業系高校生対象講習会実施風景



図3 新聞記事（2013/10/26、山梨日日新聞）

に指導予定の教員が受講していたため、本研修による技術力および技術指導力向上が期待される。

2.2 工業系高校生向け

平成24年度末に実施した前述の技能検定取得講習「普通旋盤作業2級」開催を契機に、機械系専門高校教員から高校生の「普通旋盤作業2級」取得が可能となる実践的な実技指導方法を知りたいとの要望があった。そこで、機械系専門高校教員が高校生への高度な実技指導に役立てる目的で県内技能士会所属の講師（高度熟練技能者、高度技能継承インストラクター）を招聘し、“高校生対象「普通旋盤作業2級」取得講習会”（2013/4/20～2013/7/27、計8日間、高校生受講者延べ10名）を高校の授業時間外に実施した（図2参照）。その結果、図3の新聞記事に示した通り、山梨県内の高校生で初めて当該資格を取得することができた。

3. おわりに

現在実施中の「学科横断的PBLものづくり教育プログラムの開発」事業について、平成24年度下半期から平成25年度上半期における学外向けものづくり研修の実施概要を報告した。

参考文献

- 1) 石田ほか 全4名，平成23-24年度「学科横断的PBLものづくり教育プログラムの開発」事業について，第10回ものづくり・創造性教育に関するシンポジウム予稿集，(2012)。